

平成27年度事業報告書

平成27年1月1日～平成27年12月31日まで

本協会は、平成27年度事業計画に基づき、次の事業を行った。

『公益目的事業 1』

＜プロボウラー及び指導員の認定育成事業＞

1. プロボウラーの資格認定及び登録

男子54回・女子48回プロボウラー資格取得テストを実施した。

受験者数は、男子93名(前年87名)、女子34名(前年36名)であった。

第1次(実技)、第2次(実技)、第3次(筆記・面接・身体検査等)を行い合格者、男子21名(前年17名)、女子19名(前年16名)を正会員として登録を行った。

2. プロボウラーの指導者及び一般の指導者の資格認定・登録事業

インストラクターの資格認定及び登録を行った。

(1)公認インストラクターA級・B級・C級、各合格者の認定と登録を行った。

A級71名、B級154名、C級724名を公認インストラクターとして認定し登録を行った。

(2)認定インストラクター1級・2級の認定と登録を行った。

1級170名、2級464名を認定インストラクターとして、登録を行った。

3. 講座、セミナー、育成事業

(1)専門講習会Part Iを東日本・西日本の2会場で行い、合計64名の参加で行った。

(2)インストラクタークリニックを全国9会場129名の参加で行った。

4. 健康ボウリングスクール講師認定講習会を全国9会場45名の参加で実施

5. ボウリングを通じての医・科学の調査研究

6. ボウリング関係団体が主催する競技会又は講習会の指導・援助

(公社)日本ボウリング場協会が、社会福祉の向上に寄与する活動として障害者の方々も参加する「第49回宮様チャリティーボウリング大会」へプロを派遣し、障害者への指導及び交流を図った。

・開催日 平成27年11月28日(土)・29日(日)

・会場 品川プリンスホテルボウリングセンター

・参加人数 健常者(男女)367名、障害者(男女)126名 合計493名

7. ボウリングに関する刊行物の発行

・インストラクターズニュース

・メディアガイドブック

・2016プロボウリングカレンダー

8. ボウリング技術及びマナーに関する調査研究、指導及び奨励事業

J P B A全国ジュニアボウリング教室を、文部科学省の後援を頂き(公社)日本ボウリング場協会との共催でボウリングスクールを開催した。

・春休み：センター数及び参加者数 61会場、2,420名

・夏休み：センター数及び参加者数 142会場、5,704名

・冬休み：センター数及び参加者数 39会場、912名

『公益目的事業 2』

1. 競技会開催による普及及び啓発事業

◎主催及び共催トーナメントの開催及び運営を行った。

- ・JPBA シーズントライアル2015 (ウインター、スプリング、サマー、ホーラムシリーズ各4会場) ※
- ・「ガリコセブンティンアイス杯」第3回プロアマボウリングトーナメント (男女同時開催)
- ・2015 下半期女子順位決定戦 ※
- ・第6回HANDA CUPプロボウリングマスターズ(50歳以上)
- ・ROUND1 Cup 2015 (男子)
- ・sky・A CUP 2015プロボウリングレディーズ新人戦
- ・第17回三湖コリアンカップ(韓国/安養虎溪体育館ボウリング場)
- ・2015プロボウリング男子新人戦
- ・ROUND1 Cup Ladies 2015
- ・「HANDA CUP」第47回全日本女子プロボウリング選手権大会 ※
- ・HANDA CUP 第49回全日本プロボウリング選手権大会 ※

◎公認トーナメントの運営委託を行った。

- ・第36回関西オープン(男子)
- ・2015宮崎プロアマオープントーナメント(女子)
- ・中日杯2015東海オープン (男女同時開催)
- ・JFEカップ2015千葉女子オープン
- ・第31回六甲クイーンズオープントーナメント
- ・第10回MKチャリティカップ (男女同時開催)
- ・第38回ジャパンオープンボウリング選手権 (男女同時開催)
- ・コカコーラカップ2015千葉オープン(男子)
- ・第38回JLBCクイーンズオープンプリンスカップ

※印は、プロボウラーのみが参加できる競技会

2. ボウリング競技会の記録、管理及び研究

- (1) トーナメントの公認・承認。
- (2) 競技会規則の制定、調査研究
- (3) 公認トーナメント競技の記録、管理
- (4) 27年度年間優秀者の表彰。

年間優秀者表彰

	男	子	女	子
ポイントランキング第1位	藤井	信人	姫路	麗
アベレージランキング第1位	川添	奨太	姫路	麗
賞金ランキング第1位	山本	勲	姫路	麗

(公財)日本プロスポーツ大賞受賞者

功労賞 藤元 良一理事

新人賞 寺下 智香

3. その他本協会の目的を達成するための必要な事業

- (1) (公財)日本ユニセフ協会への協力
- (2) (公財)日本プロスポーツ協会へ理事・評議員を派遣し会の運営に参画した。
- (3) トーナメントプレイヤーズ講習会を開催した。(6会場・559名参加)
 - ・スポーツにおけるドーピングの防止活動
 - ・暴力団等反社会的勢力に対する対応並びに賭博行為の禁止

『その他の事業』

相互扶助事業

1. 退会慰労金及び功労金

2. 弔慰見舞金

公益社団法人日本プロボウリング協会
平成27年度正味財産増減計算書

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
[経常増減の部]			
[経常収益]			
【受取入会金】	2,000,000	1,750,000	250,000
【受取会費】	76,154,000	75,309,000	845,000
【事業収益】	129,544,109	156,408,406	△ 26,864,297
大会運営収益	99,417,809	125,196,050	△ 25,778,241
その他事業収益	30,126,300	31,212,356	△ 1,086,056
【インストラクター収益】	39,945,529	16,112,268	23,833,261
【寄付金収益】	800,000	800,000	0
【雑収益】	961,973	3,565,975	△ 2,604,002
経常収益計	249,405,611	253,945,649	△ 4,540,038
[経常費用]			
【事業費】	218,968,918	226,431,300	△ 7,462,382
大会運営費	89,325,075	110,059,775	△ 20,734,700
プロテスト費	6,238,413	6,794,455	△ 556,042
トーナメント委員会費	628,644	513,762	114,882
インストラクター事業費	31,975,904	9,204,255	22,771,649
広報事業費	10,328,763	10,878,784	△ 550,021
開発事業費	3,211,467	446,377	2,765,090
50周年記念事業費	5,672,060	12,000,000	△ 6,327,940
その他	7,362,572	6,840,560	522,012
事業管理費	64,226,020	69,693,332	△ 5,467,312
【管理費】	25,851,231	26,861,663	△ 1,010,432
経常費用計	244,820,149	253,292,963	△ 8,472,814
税引前当期一般正味財産増減額	4,585,462	652,686	3,932,776
[経常外増減の部]			
[経常外収益]			
50周年記念事業引当金	12,000,000	0	12,000,000
経常外収益計	12,000,000	0	12,000,000
[経常外費用]			
法人税等	70,000	35,000	35,000
経常外費用計	70,000	35,000	35,000
当期経常外増減額	11,930,000	△ 35,000	11,965,000
他会計振替額			